

環境省におけるリスクコミュニケーションの取組

1. これまでの取組状況

(1) 情報の整備

- ・事業者、都道府県等を対象に PRTR 説明会を実施
- ・PRTR パンフレットの作成・配布
- ・PRTR ホームページの設置
- ・PRTR データを読み解くための市民ガイドブック～平成 12 年度パイロット事業の結果から～の作成・配布
- ・化学物質データベース（化学物質排出把握管理促進法 435 物質）の設置
- ・リスクコミュニケーションホームページの設置
- ・リスクコミュニケーション事例集の作成・公表
- ・小中学生向けの「化学物質と環境に関する教材（エコプラントゲーム、すごろくコレクター、つくろう！『ポンポコ理想郷』）の作成・配布

(2) 対話の推進

- ・リスクコミュニケーションの推進に資する人材の育成について、アンケートや NGO・産業界との意見交換等を実施
- ・自治体担当者向けの「自治体のための化学物質と環境に関するリスクコミュニケーションマニュアル」を作成・配布

(3) 場の提供

- ・市民、産業、行政による情報共有及び相互理解を促進するため、「化学物質と環境円卓会議」及び地域フォーラムを開催

円卓会議：平成 13 年 12 月 3 日、平成 14 年 2 月 6 日、5 月 16 日、9 月 11 日、12 月 27 日

地域フォーラム：平成 14 年 3 月 19 日（関東）、4 月 19 日（関西）

2. 今後の取組（予定）

(1) 情報の整備

- ・PRTR 制度を引き続き適切に運用するとともに、PRTR データの集計結果を一般にわかりやすい形で公表
- ・「PRTR 市民ガイドブック」の作成・配布
- ・「化学物質ファクトシート」の作成

(2) 対話の推進

- ・リスクコミュニケーションの推進に資する人材（化学物質アドバイザー（仮称））の研修、登録、派遣を試行

(3) 場の提供

- ・引き続き「化学物質と環境円卓会議」を開催

(予算措置)

- ・化学物質環境安全社会費のうち

情報の整備

15 年度政府案（14 年度実績）

25 百万円（新規）

対話の推進

11 百万円（11 百万円）

場の提供

13 百万円（5 百万円）

環境省におけるリスクコミュニケーションの取組

